

## 研究実施のお知らせ

研究課題名：小児虐待患者に対する放射線画像の検討

研究期間：仙台市立病院倫理委員会承認日～令和5年3月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録）の研究利用について、以下に公開いたします。

### 【研究の対象となる方】

2010年1月～2020年3月に当院を受診し、放射線画像検査（X線写真、CT、MRI）が施行された0歳から15歳の小児虐待サポートチームが介入した患者

### 【研究の目的と意義】

虐待は日常診療において稀ですが、適切なタイミングでの介入を逸することで患者が死亡する可能性もある社会的にも重要な疾患群です。患者が医療機関を受診した際、問診、身体診察、臨床検査など多角的な評価で総合的に虐待の診断をすべきですが、放射線画像はその再現性、即時性などから特に重要です。小児虐待患者の放射線画像研究については先行研究もありますが、日本国内の症例についてまとめた研究は多くありません。

当院においては、長年小児虐待サポートチームにより、多職種での検討、介入がなされ、日本国内でも有数の診療経験を持っています。

本研究の目的は、当院において過去に小児虐待サポートチームが介入した症例について、その放射線画像を後ろ向きに検証することです。

### 【研究の方法】

小児虐待が疑われ小児虐待サポートチームが介入した症例において、施行された放射線画像を後ろ向きに検証します。具体的にはサポートチームが介入し虐待と判定した症例群（虐待児群）、判定しなかった症例群（非虐待児群）それぞれで、放射線画像所見をリストアップし、特異的所見の特定を目指します。また、被虐待群では病歴から推定される外傷の重症度と、放射線画像から推測される外傷の重症度の比較を行います。

予定症例数：約500例

### 【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（既往歴、現病歴）・放射線画像を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【研究の実施体制】

研究代表者：

仙台市立病院 放射線科 柳垣聡

研究参加施設：

仙台市立病院 放射線科、小児科

協力施設：

東北大学病院放射線診断科

**【お問い合わせ先】**

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 放射線科

医員 柳垣 聡

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）